

平成 28 年 7 月 28 日（木）午後 2 時
苫小牧市立中央図書 2 階 講堂

事務局 それではここから議事の進行となります。会長が議長となりますので、種田会長に進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議長 本当に不慣れでございますので、みなさんのご協力を得ながら進行させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。それでは会議次第の 7 番目ということで議事について進めさせていただきたいと思っております。今回協議が必要な議題はございませんが、このたび委員の半数が改選となりましたので、今後の会議で協議していただく際の参考として勇払公民館と中央図書館についての概要の説明を各担当の方からしていただきたいという風に思っております。それでは、まず勇払公民館の佐藤館長様からお願いいたします。

< 以下資料に基づいて勇払公民館の説明 >

委員 現段階で何か気になる問題点がございましたら、教えてください。

館長 今回の段階では問題になることはないですけれども、やはり勇払地区がですね、高齢化が進んでおまして館の利用される方にも高齢の方がいらっしゃいます。そういった方の利用について心配りしながら進めていきたいと思っております。

委員 勇払公民館の利用者の記載のところに会社の親睦会や研修会というのがありまして、他の料理教室、ダンスやスポーツはイメージできるんですけど、会社の方々がどういう風に使われてるか具体的に知りたいなと思いました。

館長 会社の親睦という形で館内に併設しております料理実習室があるんですけれども、そちらでおそばを作ったり、そういうことを催している会社もございます。あと、研修会は会社も狭い所もありますので、その場合研修室を借りてそういった職員の研修をやっております。

委員 例えば会社として何かサークル活動を行っている時にそういった場所を貸していただける、そういう解釈でいいですか。

館長 一応有料ではございますけれども、貸出しております。

委員 例えばアイビープラザがあったりだとか、うちの近くだと住吉コミュニティセンターみたいなところがあったりだとかする中で、勇払の公民館の話をなんでここの議題になって

いるんでしたっけ。審議会の。くくりとしてこれが何で勇弘の話をするんでしたっけ、

部長 もともとは図書館協議会というところと勇弘公民館運営審議会とは別のそれぞれの会議だったと思いました。市役所で様々な場所事に色んな審議会がございまして、それを整理統合する中で勇弘の公民館と図書館については統合された形で一つの会としてそれぞれの館の運営について委員のみなさまからご意見をいただいこうということになったんですね。

委員 例えばそうことでいうとアイビープラザだったら、アイビープラザについての審議会みたいなものもあるんですか。

部長 あるんです。

委員 じゃあ、さらに聞きますけど、なんでアイビープラザと勇弘公民館の方が一緒にならなかったんですか、図書館と。すみません、すごく不思議に思ってたんです。図書コーナーがあるからかなという風に思ってたんですけど、ちょっとそこらへんがよくわからなくて。

部長 教育委員会で所管しているのが確かに図書館、勇弘公民館で、昔は苫小牧の公民館でしたけども公民館という分室から外してアイビープラザという形になって、どうしてそこをまとめて一緒にしなかったのかと言われると、当時私も担当していなかったもので何とも言えませんが、生涯学習ということから基本的なところを兼ね備えて一緒にしたのかなという、申し訳ないのですけれども、これだという断言できるものがないですね。ですから、私も担当していて勇弘の公民館はやっぱり利用されている方は勇弘の方がメインでいらっしゃいますから、この会の中で、もし勇弘は地域的なところあるから別にしましょうという話が出てきてもおかしくないかなと思いつつも会議の中で振り返っているんですけど。

委員 機能という意味では、それこそアイビーだとかそういうくくりで話すほうがピッタリしているかなという気がしました。

部長 そうですね。事業という部分で見ればそうですね。また教育部が所管ではないんですけども、市民生活部が所管しているのが、さっきもちょっとありましたけど住吉コミュニティーセンター、いわゆるコミュニティーセンターですね。住吉、沼ノ端、のぞみ、今改修中ですけど豊川、この4つは市民生活部が所管しておりまして、それぞれに図書コーナーがございまして、図書館の繋がりも当然ございまして、他の部分の体育館、小体育館ですとか、あとサークル活動のお部屋ということについては地域活動という観点から市民生活部が所管して一つの指定管理者に4つの館の管理をお任せしているという。ただ、勇弘は教育法の縛りの中の勇弘公民館という縛りの中で相変わらず教育が所管させていただいているという環境もあるのかなと思いますけれども。ただ、部

が違うのでコミセンと勇払公民館はまたちょっと立場が違う、ただやっている事業としては非常に似通っているということをご理解いただきたいと思います。

委員 統合するのはとっても賛成なんで、くくり方を考えられるのもまたいいかなという風に思いますんで、今後検討していただけるといいと思います。

部長 はい。

議長 いまの委員の質問にもちょっとかかわるかもしれないのですが、ちょっと突っ込んで申し訳ないのですが、この公民館審議会というのは社会教育法上のものですよ。ですから、公民館というおさえがされてない建物として今、アイビープラザがあると考えるところでいいんですよ。

部長 はい。

議長 では、他無ければですね、続いて中央図書館のほうからご説明いただきたいと思います。

〈 以下資料に基づいて中央図書館の説明 〉

委員 ちょっと一点教えてください。利用統計のところで前年比を全て上回っていて素晴らしいと思うんですが、入館者数と利用人数との違いが、これだけ見ると三分の二の人は入館しているけれども利用してないという風に見えなくないですか。

館長 貸出数と、ちょっと分かりづらくて申し訳ありません。入館者数は入った人数なんですけども、利用人数は本を借りた方ということで。

委員 そしたら、その場で読んで帰った場合には利用者数には入っていないってことですね。

館長 はい。

委員 入館者数はどのようにカウントしているのでしょうか。

館長 入口にカウンターので機械があるのでそちらでカウントしています。

委員 コミュニティセンターにも図書コーナーがあると思うんですが、人数または貸出数を教えてもらいたいんですが。割合として中央図書館とコミュニティセンターで大体どれくらいの割合になっているのかっていうのが、もしわかったら教えていただきたいです。

館長 こちら要覧にもあるんですけども、所蔵数とかでよろしいですか。

委員 所蔵数というよりは貸出、どっちが利用されているのかが知りたい。貸出数とか。

館長 要覧17ページの貸出人数と貸出資料数というのがございます。中央図書館と移動図書館車、図書コーナー、17ページ。

委員 なるほど、そうすると中央図書館と図書コーナーはほぼ同じくらいの数ですね。

館長 そうですね。

委員 先ほどの説明で、意見箱を設置されて運用しているとありましたけれども、これは市がやっていた時もやられてたのをそのまま引き継がれているんですか。それとも、新しく指定管理になってから始められたのですか。意見箱の運用というところ。

次長 これですね、市の直営時代から意見箱の設置しておりました。指定管理になっても引き続き行っているという形になっています。

委員 はい、これ結構、僕見るんで、面白いんで見てるんですけど。ちなみにこれは、いつも回答もちゃんと書かれてますけど、例えば市役所のほうでも、どういう意見があって、どういう風に回答されたのかっていうのもチェックされているんですか。

次長 はい、見ております。

委員 あともう一点、これは事務局に事前に質問するんと言っておったんでご準備いただいたかもしれませんが、小学校とかの図書とですね、どういう風な連携を図書館さんがやられてるのか、具体的に教えていただけますか。民営化になる時に色々心配された項目の一つだったと思うんですよね。どういう風に連携を取られているのかというのをちょっと教えていただきたいんですけど。

館長 はい。それでは今実際に中央図書館と学校のほうで連携取らせていただいている内容について項目立ててお話をさせていただきます。
まずですね「団体貸出」というのがございまして、そちらのほうは、先生方が図書館のほうへ来て通常の利用者よりも長い期間、多い冊数をですね、まとめて借りて学校に配送するという「団体貸出」というものがございます。
また、次に「スクールメール便ブックちゃん」というものがございまして、こちらのほうが、一つのテーマに沿って大体一つのテーマに40冊程度リスト化したものをまとめて一セット貸出している「ブックちゃん」というものがございます。
また、次にですね、学校図書館支援メニューとしましてまなぶくんと名前を付けているメニューがございまして、こちら司書派遣メニューになります。内容としましてはブックトークや学校図書館の運営相談、調べ学習のサポートということでこちらのほうを行っております。それ以外に種田議長のいらっしゃる図書館研究部会と連携ということで

読書感想文や感想画コンクールの共催や先ほど申しあげましたブックちゃんの内容の改訂とかにご協力をいただいております。それ以外に、学校司書の配置を昨年度からしているんですけれども、そちらのほうと連携相談ということで研修会に参加など「ブックちゃん」、「まなぶくん」の活用推進協力依頼という事でご協力を得ております。

あと、それ以外には今年度から第二回目なんですけども「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」というものを開催しております、今年度からそちらのほう全児童にチラシと応募用紙の配布ということでご協力いただいている感じでございます。

委員 今ありました、学校司書さんとの連携なんですけど、具体的にはどのようなことをやられているんですか。

館長 実際に、この前ありましたのは、学校図書館にもうちょっと児童が来るためにはどうしたら良いですかということで、先ほど申しあげました「学校司書派遣メニューまなぶくん」と重なるんですけれども、こういう風に棚の配置を変えたほうがもっといいんじゃないですかとか、こういう見やすいインデックスを作ったらどうですかというのを学校司書さんとお話をしました。

委員 市のほうにお伺いしますけれども、例えば小学校の司書さんというのは何校くらい設置じゃないか、いただいているんですか。増えたってこないだ新聞に民報さんに書いてあったんで。

部長 司書教諭という方がいらっしゃる学校、クラスが多いとですねいらっしゃるんですけれども、なかなか図書館司書だけのことをやるっていう風な形で配属されてなくて、普通の学校の担任、教諭をしながらやってるものですから、なかなか司書教諭の方も学校図書館のところにどっぷり浸かれないということがございまして、私どものほうで学校図書館司書という臨時職員なんですけども何人か採用しまして、昨年度から配置してございます。一つの学校にずっといるだけじゃなくてお一人で何校か回っていただいて、色々な学校の図書館に入っていただいて、先ほど館長からお話があったようなどうやったら子どもたちに魅力的な本の貸出ができるかということを見なさまがレイアウトとかもやりながら活動してもらってまして、集中的に入ってもらっている学校については非常に前年度よりも図書の貸出数が増えたということで、高評価を得ています。私どもとしてはまだすべての小学校へ配置できないものですから、とりあえずはそういった資格のある図書館司書の資格を持った方を臨時職員で採用して、とりあえずはすべての小学校には配置していこうということで努力しておりますけれども、なかなか募集してもなり手がなかったりして、スムーズにいけないというところがありますけれども、ひとつひとつ着実に前進しているかなという気がしております。

委員 学校司書さんとの連携というのは、中央図書館さんの業務のひとつになっているという理解で良いんですね。

館長 学校連携は、はい、業務の一つと。

部長 提携してないですけど、連携して。

委員 私達も図書を寄贈した時に、色々な図書館、図書室を見せていただくんですね。そうすると学校によってだいぶ雰囲気が違って、司書さんがいらっしゃる学校って、すごく良いんですね。本立てであったりとか、すごく借りたくなるような仕組みが色々取られているので、できれば図書館さんのほうと、うまく連携されて図書館さんはそういうノウハウを持っていると思うので、うまくお伝えしてあげてそういうの増やしていけたらなど。

部長 図書ボランティアの方々がいらっしゃる学校もあるので、そういった方たちとも連携しながらやらせていただいているといった形です。

議長 先日、この会場でですね、各小中学校の図書ボランティアをやられているお母さん方、お父さんもいらっしゃいましたけれども、集まっていただいて、それこそ色々な学校ごとの取組の情報交流みたいな形でやったんですけどもね、学校の図書室、図書館によっては旧態依然というところもあるかもしれない。開架の本の並べ方、見せ方や何かもですね、あとポップ作って、子どもたちに作らせてそれを展示したりとか、いろんな工夫をしながらですね、お母さん方も取り組んでいただけてますし、苦教研の図書館部会のほうからもですね、中央図書館の方にはいつもお世話になっておまして、専門的な知識やそういうものを教えていただきながら進めているところなんですけども。いま、ちょうど苦小牧民報にも夏休みの読書感想文で取り上げたらどうかっていう本の紹介わかりますか。毎日一つずつ出ている、あれなんかも図書館部会の先生方が色々こう考えるんですけども、色々アドバイスなんかを図書館の方からいただいてやっています。

委員 ここでもぜひ連携をやっていただいて。

議長 今の小学校の国語科がですね、教科書、今の中学校の国語の教科書もそうなんですけど、ただ単にある作家の作品が載っているというだけじゃなくて、その作家の別な作品が写真で紹介されていたりとか、巻末にですね、まとめて中学生が読んだらいいよとか小学生が読んだらいいよとかいう本をですね、紹介されてるページっていうのがあるんですよ。特に小学校の場合は並行読書というのが国語科の中の主流なんです。だからこの作家についての作品を読んだらこういう作品もというのが取り上げられているものから、当然学校の先生方は予算に限りがありますので、学校図書館で準備できない本についてはですね、中央図書館さんをお願いしてですね、こういう本ありますかということを用意していただいて、それを、各学校で使ってるという実態もあります。

議長 その他ということで、何かみなさんのほうから、こういう機会に質問もしくはご意見という事であれば承りたいと思いますけれども。何かございますか。

- 課長 生涯学習課で所管しております文化芸術事業っていうのをやっています、今週末土日にですね「苫小牧アートフェスティバル」ということで、このサンガーデン、出光カルチャーパークっていう名前がこの公園なっていますが、その公園を中心にサンガーデン、図書館、博物館という形で周辺施設連携してこの文化イベントを開催いたします。この行事ですね、市内の文化団体の方だとかそんなにビッグネームの方ではないんですが、文化団体で地道に活動していらっしゃる方々の発表の機会を設けようという形でやっている行事でございます、色んな各ジャンルの出し物がサンガーデンの池ステージとかで行われるというようなことをやっております。ぜひ、みなさんに観に来ていただきたいということで、宣伝の場をいただきました。土曜日の夜七時からですね、オープニングセレモニーを開催いたします。そこでですね、今回テーマを「蛍光」ということでやってまして、蛍光塗料を塗った花が光るといった仕掛けの出し物、というかその点灯式をやりますんで、ぜひお時間ありましたら足を運んでいただきたいという風に思いました。よろしく願いいたします。
- 部長 私ども市の事業なんですけども、図書館さんにも無理やり協力していただいているので、もしお時間あれば、ぜひお越しください。
- 委員 オープニングセレモニーのヴィータ・エテルナ・コーロによる合唱を聴いたことがあるんですけど、学生の女の子がすごくきれいな歌声で歌ってくれるので、ぜひ見られると良いと思います。
- 課長 去年もヴィータさんのほうにはお願いしておまして、セレモニーで歌っていただいて、大変好評だったんで。私も聴いたらとても素晴らしかったんで。
- 課長 小学校と中学校の児童生徒の方がいらっしゃいますね。素晴らしいです。
- 委員 事務局にお願いなんですけど、今日の案内の議題とかに1番2番って、1番に委嘱状の交付で2番に会長副会長の選任になっていて、3番その他になっちゃってるんですけど、もうちょっと、例えば今日だったら勇払公民館の説明だとか、図書館協議会の事業の説明だとかやったわけですから、こういうのをやるっていうのを入れたい欲しいんですよ。たぶん、みなさんお忙しい中でこの会に出れるか出れないかというのを調整されると思うんですけど、議題は何かというのは必要だと思いますので、ぜひもうちょっと細かく入れておいていただけるとありがたいと思います。
- 委員 学校図書館の件なんですけど、私も子どもたちがまだ学校に通っていた頃、図書館のボランティアとしてお手伝いさせていただいた経験があるんですけど、いま現在の教育委員会さんのほうで進めてくださっている学校図書館に司書の配属という件ですね。これからますます、子どもたちにとっての学校図書館のあり方ってとって大きくなっていくんじゃないかなって思うんです。近所にまず本屋さんというのがなくて、大きい所へ行くためには、やっぱり保護者の同行が必要な環境ですし、先ほど教育長もおっしゃって

たようにポケモン GO だとかゲームでの子どもの時間を使ってしまうことの割合がすごく大きくなってきている中で、学校図書館ってすごく子どもにとって良い環境であるべきだと私は思うんですね。なので、ぜひ図書ボランティアのみなさまも頑張っていると思うので、そういう方たちがなかなか入れない学校さんに司書さんの配属を進めていただくですか、司書さんが子どもたちが来る時間にできるだけ長い時間いられるようなご配慮をしていただけるとありがたいかなと感じながら今日の会議を聞いていました。ぜひよろしくをお願いします。

部長 ボランティアさんがいるところについてはアドバイスのところで連携してやってくというのが当然ですし、ボランティアさんがいらっしやらないところについては、そういったところから配置していくというのは、まあ、資格をお持ちになってもそういった仕事で公募してもなかなかいらっしやらないということもあるものですから、その辺は頑張ってそろそろ会の方にも伺いながら、進めてまいりたいと思っております。よろしくをお願いします。

委員 司書さんのことなんですけど、拓勇小学校は今年から司書さんがいらしてくれてるんですね。ただ、美園小の司書さんのお話も以前にしていまして、ただ小学校での司書さんの活動してくださったり、活躍してくださったりしているという話をよく耳にするんですけど、中学校では司書さんいるんだよね、うちの中学校、という話を一度も聞いたことがないんですよ。小学校で司書さんいてくださって、本に慣れ親しむという基礎を小学校でつくっていただければ中学校になった時自分で図書室へ行き本を選べるんだと思うんですけど、青翔中学校では図書委員がすごく頑張っていて、もちろん中学校なのでお母さんたちの図書ボランティアはっていう学校もなかなかないと思うんですよ。なので図書委員がすごくポップ作ったり、おすすめしたり、あと先生もどこから情報入れてプリント貼ってくださったりしてくれているんですけど、なので、小学校では司書さんに基礎知識っていうのを図書館さんと連携してやってくださっていると思うんで、一歩進めて中学校での図書離れを防ぐためにもどうか中学校の図書委員さんとの連携を取られてはいかがかなと、今思いました。よく中学校上がった途端、中一ギャップとか学習面でも言われているので、そこの本に慣れ親しむことが続けられれば解消に繋がるんじゃないかと思ったので、ぜひ中学校のほうにも目を向けていただけたらと思います。

部長 先日の議会でも議員のほうから中学校どうなってるじゃなくて苫小牧市はどう考えているんだとご質問いただきまして、とりあえずまだすべての小学校に配置できてないということがございますので、優先順位としては、申し訳ないけど小学校、その後中学校ということで頑張っていきますということで教育長がお答えしていますので、その中でも当然中学校に図書司書がいらっしやらない中では司書教諭だとか図書の担当の学生さんとの連携というのも必要だと思いますので、ちょっとそれは宿題として持ち帰らせていただいて提案をお伝えしたいと思います。

委員 子どもの頑張りがすごくいいので。

部長 中学校というとはほとんど読まなくなってしまうんですね。

議長 私、今年7年ぶりで中学校に戻ったんですけども、小学校は基本的にどの時間に行っても図書館は開いているんですね。少なくとも鍵がかかっていることはない。授業で使うこともすごく多いんですけど、中学校の場合はですね、今回明倫に赴任してすぐ学校図書館見に行ったんですけど、南京錠ががっちりかかっていました。本当に昼休みしか開きません。昼休み図書委員が貸出を行っているんですが、やっぱり中学校だなっていう。だから本当に改善していかなければならないなって思います。

委員 啓明中学校さんは図書ボランティアさん入っていますね。

議長 そうですね。

委員 私千歳に住んでいまして、千歳の中学校はすべての中学校に市の司書さんが月に2、3回訪問する形で入ってまして、その来ていただいた時に図書館を整理整頓から並べ方を指導していただいたりとか、そのようなことをやっています。うちの娘の中学校ちょうど今日司書さんが昼間来ていて、一般開放もしてるんですけど、夜はPTAによる一般開放という事で夜八時ぐらいまで、一般開放じゃないですね、保護者に対しての貸出というのをやっているんですけど、そのような活動をしています。で、いま南京錠という話が出ましたが、うちの娘の中学校はそんなことはなくて常に借りれるような形になっておりますので、その辺は中学校の借りやすいようなあり方っていうのをたぶん中学校ごと図書館の状況も違うと思いますし、まちまちだと思いますけれども、できるだけその子どもたちが、最近本読む子どもって昔よりは減ってると思うんで、その辺はみんなで大人もあるいはボランティア、中学校の場合だと図書委員ですか、そんなようなところと連携しながら、大人もサポートしながら、より良い環境づくりってのをたぶん作っていかなくちゃいけないのかなと感じていますけれども。以上参考までですが。

議長 千歳の形と、白老町も同じでしたね。私も白老中学校で教頭でいた頃には週に1回白老町の図書館の司書さんが来られてやっぱり同じような形で活動していました。他なければ、事務局さんのほうに移させていただきますが、よろしいでしょうか。はい、では失礼します。

事務局 種田会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様もご多用中お時間をいただきありがとうございます。以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。皆様本日はありがとうございました。
この後、委員の皆様にお時間があれば、ご希望の方へ見学会を開催したいと思います。概ね30分くらいを予定しております。もし、お時間のある方はよろしく願いいたします。

閉会 < 午後3時 >

<出席者>

○委員

種田直章	会長
深澤治稔	副会長
一谷誠子	委員
鈴木一恵	委員
松井慶子	委員
村本充	委員
八島恵利子	委員
藪田美枝	委員

<欠席者>

○委員

伊藤博之	委員
久保田眞知子	委員

○事務局

教育委員会

和野教育長
松浦教育部長
瀬能教育部次長
鍛冶生涯学習課長
久保主任主事

勇弘公民館

佐藤館長

中央図書館

吉見館長
上田副館長